

広報させぼ
合併特集号

この付録は、平成17年度(平成17年4月から平成18年3月まで)の、
合併して新しくなった佐世保市の台所(財政)事情を、させぼさん一家
の家計簿にたとえ、わかりやすく解説した情報紙です。

※平成17年4月1日に吉井町・世知原町、平成18年3月31日に小佐々町・宇久町が加わって、
新しい佐世保市がスタートしました。

新させぼさんちの家計簿

～“こうなったんだね!” 26万市民の台所事情～

自)平成17年4月1日～至)平成18年3月31日



新しい家族が増えました。

佐世保市財務部

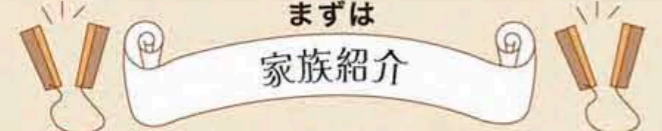
家族が増えてにぎやかになったけど、家計はどうなったんだろう？

佐世保市の財政(平成16年度普通会計※1収入876億円)を、させぼさん一家の年収(500万円)にたとえて紹介します。

さて、させぼさん一家の去年の家計簿はどうなっているでしょう？

※1:普通会計とは、財政比較など全国統一的に用いられる会計区分です。市税や国からの補助金や交付金、手数料などの収入や、市の行う仕事に必要な支出といったお金の処理をまとめた一般会計のほか、住宅事業、土地整理事業(一部)、災害共済(火災)事業、佐世保市等地域交通体系整備事業、土地取得事業、特別養護老人ホーム事業(17年度のみ)の6つの特別会計が含まれています。
 昨年の家計簿は、一般会計をもとに作成しましたが、今年は合併4町と比較するため、普通会計で作成しています。

まずは 家族紹介



させぼさん一家は九十九島が見える丘の上の一軒家に暮らす六人家族。代々100年くらい続いている佐世保っ子の家です。

させぼ大助(10) 海で遊ぶのが大好き。勉強もがんばって、いくつも塾に通っているんだ。

させぼカキエモン(77) おじいちゃん。山歩きが好きだったけど、近頃病院に通うのが多くなったんだ。

させぼ港三(41) お父さん。脱サラしてパーカーショップをやっている。まだ収入は少ないみたい。

させぼ陶子(39) おかあさん。家計簿を毎日つけてるよ。おとうさんと同じくらい佐世保のまちが気に入って、東京からお嫁さんにきたんだって。近所のスーパーでパート勤めもしてる働き者なんだ。

させぼこま子(19) お姉ちゃん。福岡の短大に通ってる。バイトもしてるけど、仕送りがないと大変なんだって。

させぼ島男(18) お兄ちゃん。大学受験も近づき、塾で勉強中。うちの両親、けっこう教育熱心なんだ。

国乃夫妻 東京にいるお母さんの両親。アパートをたくさん持って、毎月家へ仕送りしてくれるんだって。

して去年とおとしに、お母さんの姉弟がぼくちに住むことになったんだ。とってもにぎやかになってぼくは大喜びなんだ。

山彦さん(32) お母さんの弟。自然農法と食育の研究をしているんだって。お茶とメロンが大好きなんだ。

波江さん(29) お母さんの妹で画家志望。西海の夕映えに感動して描き続ける事を決心したんだって。

それじゃあ、新しい家族が増えてからの家計簿を紹介しま〜す。

家計簿ビフォーアフター

以前のさせぼさん一家

平成16年4月～平成17年3月の間の月平均家計

収入		支出	
現金収入合計	360,100円	生活費合計	235,800円
【現金収入の内訳】		【生活費の内訳】	
お父さんの収入	129,200円	食費	65,000円
お母さんのパート収入	46,700円	医療費	75,800円
お母さんの実家からの仕送り	184,200円	水道・光熱費	56,700円
		車の修理代	3,300円
		教育費	35,000円
借金	37,500円	娘への仕送り	32,500円
貯金のとりぐずし	6,700円	ローン返済	48,300円
繰越金	12,500円	家庭のリフォーム	57,500円
		知人への貸付	21,700円
		貯金	5,800円
合計	416,800円	合計	401,600円
貯金残高	470,000円	余ったお金	15,200円
		ローン残高	5,910,000円

家族が増えたさせぼさん一家

平成17年4月～平成18年3月の間の月平均家計

収入		支出	
現金収入合計	402,500円	生活費合計	270,800円
【現金収入の内訳】		【生活費の内訳】	
お父さんの収入	127,500円	食費	75,000円
お母さんのパート収入	46,700円	医療費	83,300円
お母さんの実家からの仕送り	228,300円	水道・光熱費	66,700円
		車の修理代	3,300円
		教育費	42,500円
借金	37,500円	娘への仕送り	38,300円
貯金のとりぐずし	25,000円	ローン返済	60,000円
繰越金	15,800円	家庭のリフォーム	49,200円
		知人への貸付	21,700円
		貯金	18,300円
		生活費つなぎ資金の返済	800円
合計	480,800円	合計	459,100円
貯金残高	630,000円	余ったお金	21,700円
		ローン残高	7,050,000円

以前の山彦さん・波江さんの家計簿

平成16年4月～平成17年3月の間の月平均家計

現金収入合計 20,300円		現金収入合計 25,400円	
【現金収入の内訳】		【現金収入の内訳】	
山彦さんの固定収入	2,800円	波江さんの固定収入	3,400円
フリーマーケットの収入	2,200円	フリーマーケットの収入	1,400円
実家からの仕送り	15,300円	実家からの仕送り	20,600円
借金	3,300円	借金	3,600円
貯金のとりぐずし	4,500円	貯金のとりぐずし	3,300円
繰越金	700円	繰越金	1,000円
収入合計	28,800円	収入合計	33,300円
支出合計	29,200円	支出合計	32,300円
貯金残高	77,000円	貯金残高	137,000円
ローン残高	553,000円	ローン残高	685,000円

※山彦さんの家計簿は旧吉井町・旧世知原町、波江さんの家計簿は旧宇久町・旧小佐々町の16年度決算額をそれぞれ合計し、同年度の佐世保市の決算額を500万円の家計で見立てた場合と同じ比率で算出したものです。
 ※合併4町の財政規模が旧佐世保市と比べ規模が小さいため、少々いびつな家計簿のたとえとなりました。

一緒に暮らすようになって仕送りが増えました。

いいの？

いいよ。

でもいつかは……ね

ここからは大助君には難しいので、お母さんが説明するわ。弟や妹が来た後、我が家の家計はこう変わりました。

収入が増えた。
 月収が約48万円(年収577万円)に。働き手が増えたからと思ったけど、実家からの仕送りが多くなったせいなのね。

儉約上手になりました。(a+b+c>d)
 家族が増えても節約に心がけたせいで、ちょっぴりゆとりができたのよ。やっぱり別々に生活するより一緒に暮らした方が食費や水道、光熱費は効率的なのね。もっと節約しなくっちゃ。

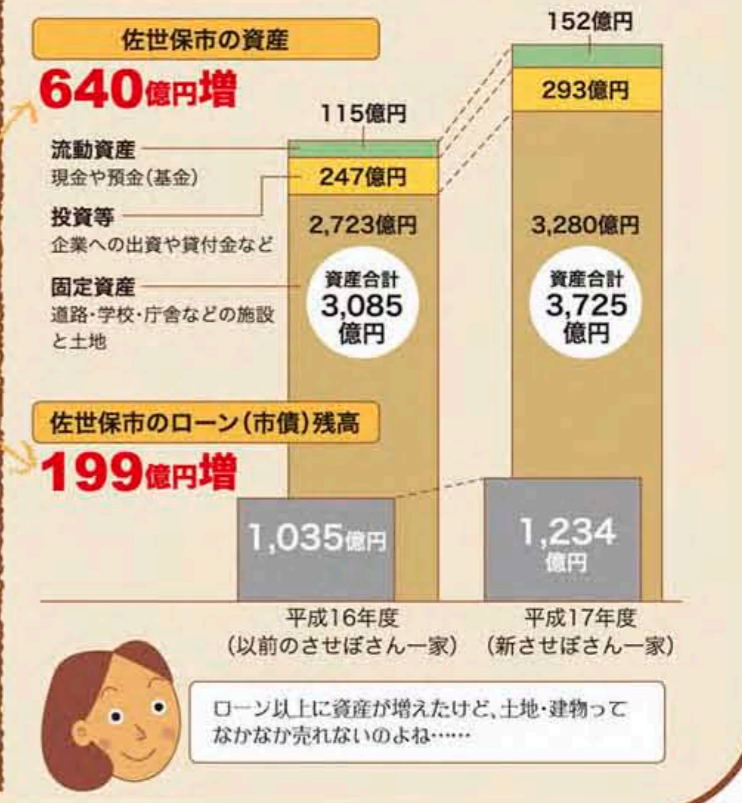
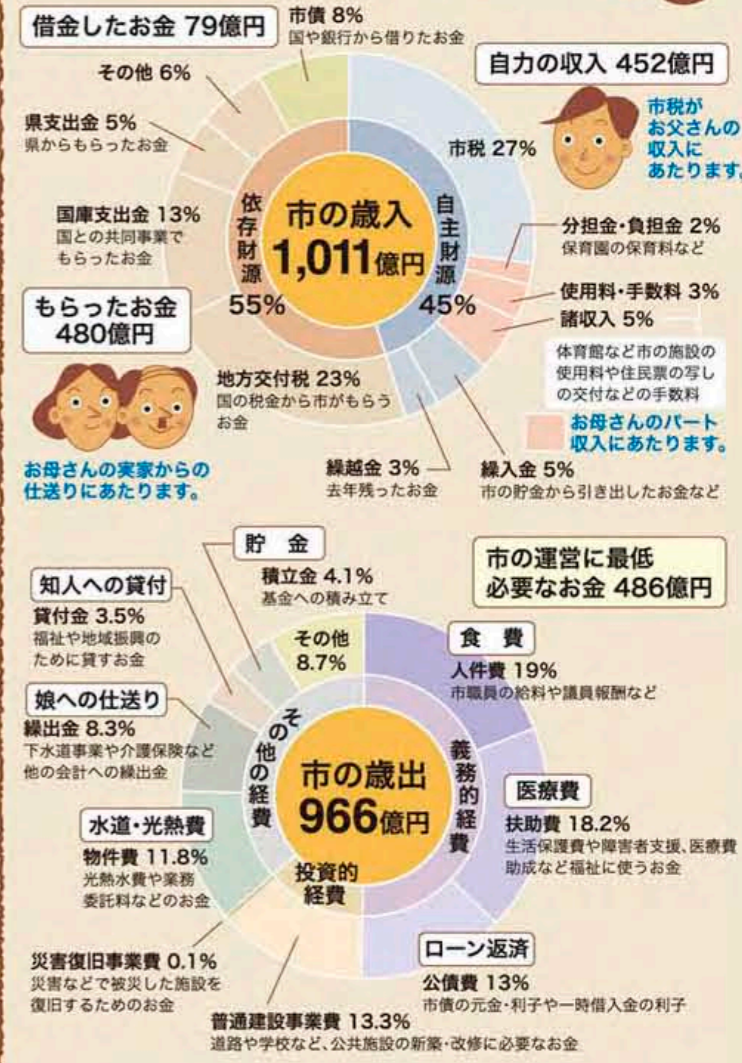
ローンは増えちゃったけど、財産も増えたのね。
 貯金も増えたけどローンの伸びが大きいわね。年収の1.2倍。でも弟や妹名義の土地やお店があるっていうし、じょうずな活用ができれば未来は明るいかも。

東京の親たちも応援してくれるのよ。
 自分の子どもたちが一緒に暮らすっていうから“10年は面倒みる”って東京の両親たちもこれまでと同じように仕送りしてくれるのよ。今のうちに家のリフォームや庭のお手入れやおこうかしら。

合併後のまちづくりを円滑におこなうために、一定期間は国、県からの財政支援措置があります。

佐世保市の家計簿

平成17年度決算 歳入・歳出内訳(普通会計)



ローン以上に資産が増えたけど、土地・建物ってなかなか売れないのよね……

平成17年度にやった事



平

成17年度は、吉井町・世知原町・宇久町・小佐々町との合併による新市としてのスタートの年でした。

地域経済の活性化や雇用の創出など「**地域の活力の再生**」を進め、安心して暮らせる地域社会を実現するため、様々な事業を展開しました。

●本市の基幹産業でもある観光では、**エコツーリズム**※2など新たな展開による本市観光のグレードアップをめざしました。

●市民の利便性向上や国道の渋滞緩和を図るため計画された**市道山祇黒髪町線**が全線開通しました。

●し尿処理施設「**轟クリーンセンター**」が施設名も新たに「**クリーンピュアとどろき**」として、平成18年3月に完成しました。これまで海洋投入していたし尿や汚泥を、すべて陸上処理できるようになりました。

※2 エコツーリズムとは、自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方です。

海はともだち



九十九島カヤックエコツアー



吉井町の名産、イチゴ



懐かしいなあ



宇久町「大浜海水浴場」

4人1組



世知原町「茶摘みのつどい」



小佐々町「日本本土最西端の地」



「クリーンピュアとどろき」完成



市道山祇黒髪町線全線開通

将来の台所事情は？



国

の経済情勢では「景気は回復している」とされていますが、本市の場合、総じて回復しているとは言いがたい状況です。

景気低迷による**収入(歳入)の伸び悩み**や、**国の財政構造改革(三位一体の改革)※3**の影響などで、財源は不足気味です。一方、**少子高齢化**による**社会保障費**の必然

的な増加や、**人口減少**は財政のみならず地域全体にとって深刻な問題です。1市4町の合併により、新佐世保市が誕生しましたが、安全安心で住み良いまちを目指すためには、健全な財政運営が不可欠です。

これまでも効率的で自立した行政運営をめざしてきましたが、今後も収入の確保に努め、安定した公共サービスが提供できるよう、行政改革によるさらなる効率化や限られた財源をより効果の高い事業に重点的に配分するなど、市民視点の行政経営に努めていきます。

※3 「地方にできることは地方で」の原則のもと、地方公共団体自身の努力と責任による行財政運営を行う必要性を唱えた方針。これにより、地方交付税は年々削減され、平成16年度時での地方交付税額は、平成8年度の水準にまで削減されています。

平成17年度一般会計歳入歳出決算などについては、不正経理のため市議会で不認定となりました。

佐世保市の財政についてもっと知りたい方は、市のホームページにアクセスしてください。また、市役所6階行政資料閲覧コーナーでも各種資料をご覧ください。

●佐世保市のホームページ
<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>

お問い合わせ先/佐世保市財務部財政課・行政評価推進室

〒857-8585佐世保市八幡町1番10号 Tel.0956-24-1111(内線2680)

